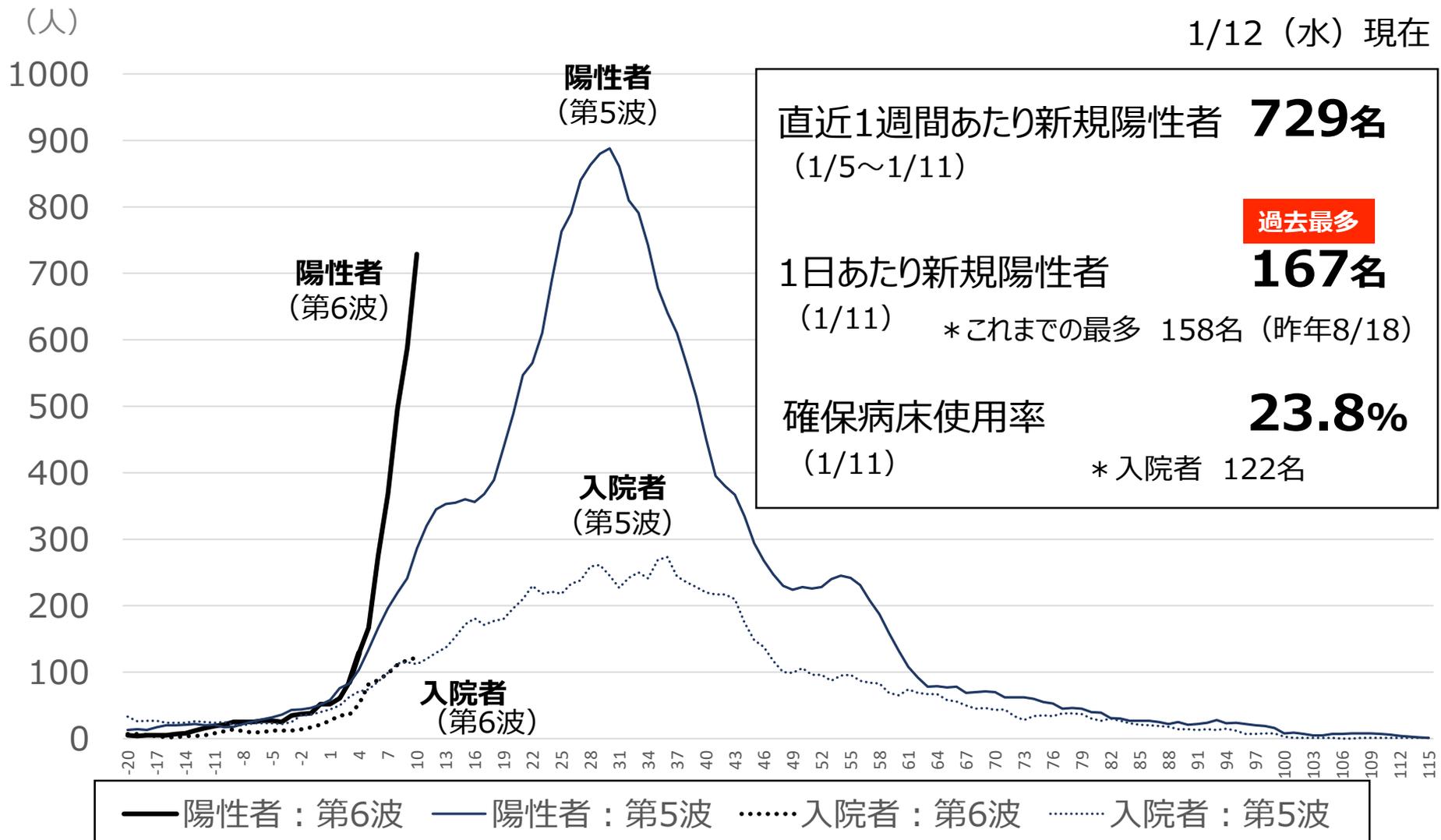


1月12日（水） 知事会見

- 1 感染状況及びオミクロン株の特徴等
- 2 ワクチン追加接種等の迅速な実施

- 1 感染状況及びオミクロン株の特徴等**
- 2 ワクチン追加接種等の迅速な実施

直近1週間の新規陽性者数・入院者数の推移 ＜第6波・第5波の比較＞

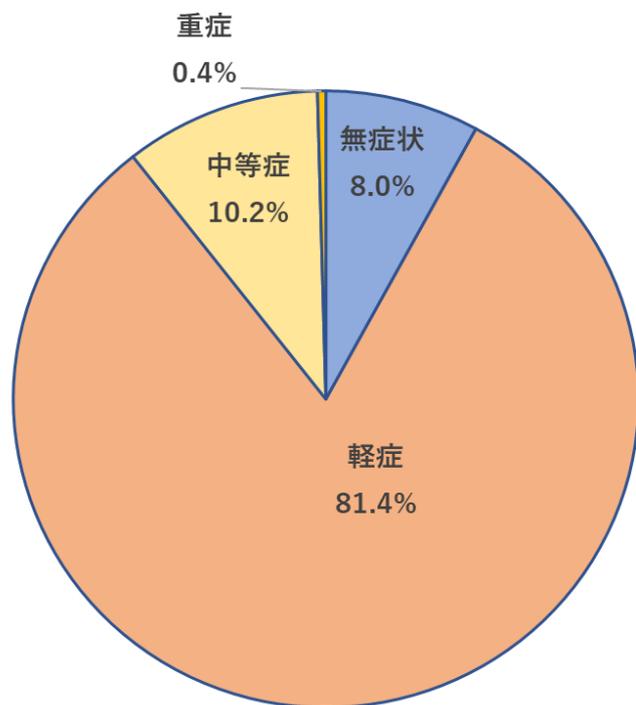


(注) 1週間の新規陽性者数が50人以上となった日を起点 (ゼロ日) としてグラフ化
 第6波：2022年1月1日、第5波：2021年7月24日

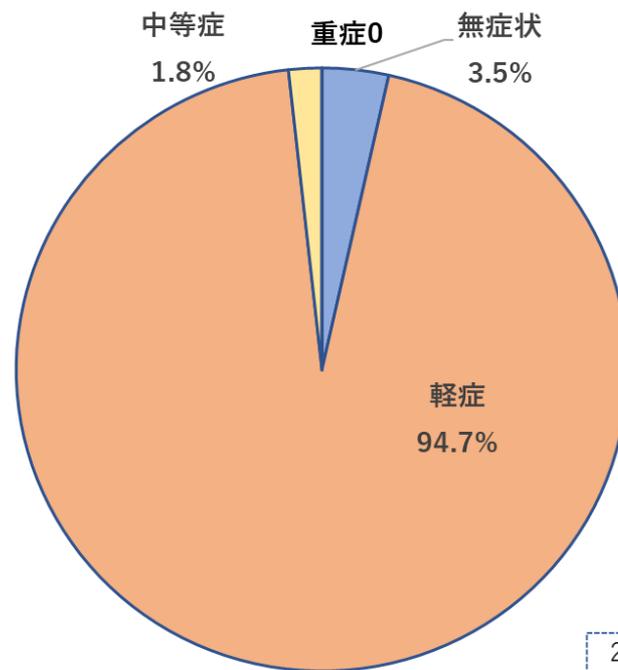
第5波の陽性者に比較し、L452R陰性（オミクロン株疑い）の陽性者の方が、軽症者の占める割合が多い

【重症度別 陽性者数（療養中の最重症度）】

第5波 (n=3,701)



2022.1月以降でL452R陰性者 (n=114)



2022.1.10時点
の最重症度

※L452R変異株スクリーニング検査の実施状況

検査実施数：249人（1/3～1/9に届出） うちL452R陰性：175人（確定例23人含む）

➡ オミクロン株疑いの割合 **70.3%**

➤ 感染性・伝播性
高い可能性

出典：厚生労働省アドバイザリーボード
国立感染症研究所

➤ 重篤度
重症化しにくい可能性が示唆

➤ ワクチンの効果
効果を低下させるものの、重症化予防効果は
一定程度保たれる

明日、新型コロナ本部会議を開催し、
「当面のオミクロン株対応策」及び
「医療警報（全県レベル4）の発出」を決定予定

- 1 感染状況及びオミクロン株の特徴等
- 2 **ワクチン追加接種等の迅速な実施**

接種見込み人数とワクチン供給の見通し

ワクチン供給 (回)	R3.11月	R3.12月	R4.1月	R4.2月	R4.3月	R4.4月	R4.5月	R4.6月	単位: 回
ファイザー社	74,880	216,450		159,120					接種実績に応じて配分される見込み
モデルナ社			293,550	75,300					
単位: 人									
追加接種のタイミング	R3.12月	R4.1月	R4.2月	R4.3月	R4.4月	R4.5月	R4.6月	R4.7月	
医療従事者等	約21,000	約80,000	約2,000	少数	少数	少数	—	—	
	接種間隔: 6ヵ月経過後～ (1ヵ月以内の接種に努める)								
2か月前倒し可	接種期間								
高齢者等	0	約116,000	約424,000	約50,000	約7,000	約5,000	約2,000	—	
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者施設等の入所者及び従事者 ● 病院及び有床診療所の入院患者 	接種間隔: 6ヵ月経過後～ (1ヵ月以内の接種に努める)								
2か月前倒し可	接種期間								
<ul style="list-style-type: none"> ● 通所サービス事業所の利用者及び従事者 	接種間隔: 6ヵ月経過後～ (1ヵ月以内の接種に努める)								
2か月前倒し可	接種期間								
<ul style="list-style-type: none"> ● 一般の高齢者 	接種間隔: 7ヵ月経過後～ (1ヵ月以内の接種に努める)								
1か月前倒し可	接種期間								
上記以外の方	0	約3,000	約9,000	約60,000	約210,000	約253,000	約290,000	約98,000	
	接種間隔: 8ヵ月経過後～ (1ヵ月以内の接種に努める)								
	接種期間								
ワクチン残	74,880	約270,330	約364,880	約164,300	約54,300	単位: 回			

※記載人数は前倒し後の想定人数(推計) (「—」については、初回接種実績が未確定であることから、推計不可)

＜ワクチン供給のポイント＞

- ・国から示されているワクチン配分量により3月末まで充足する見込み。
- ・2月7日週に配送されるモデルナ社ワクチン7万5300回を使用することで、前倒し接種含めた、2月の接種対象者約44万人分の接種が可能。

- 接種可能となる日から**1か月以内**の接種に努める
- 前倒し対象者は、次のとおり接種に努める

• 医療従事者等	令和4年1月末まで
• 高齢者施設等の入所者及び従事者 • 長期入院患者が多い病院及び有床診療所の入院患者	令和4年2月末まで
• 通所サービス事業所の利用者及び従事者 • 上記以外の高齢者	令和4年3月末まで

※記載された日程以降に、接種が可能となる方を除く

- 高齢者のさらなる前倒しや、一般の方の前倒しに確実に対応できるよう準備を進める

➤ 県は、早期接種に向けた必要な支援を行う

- 県会場の設置
 - 1月は医療従事者等、2月は高齢者を主な対象に接種する
 - 3月以降は、国の前倒しの動向を踏まえ、接種規模を拡大する
- 県保有ワクチンの市町村への融通（高齢者施設等への接種）と圏域での調整
- 医療人材（支援チーム）の派遣等

追加（3回目）接種を希望される方は、
「その時接種できるワクチンで、できるだけ速やかな接種」
のご検討をお願いします